



那覇市水道 90 年のあゆみ

那覇市の水道は、昭和8年9月に給水を開始して令和5年度で通水90周年を迎えました

現在では、給水人口約31万人余、普及率100%、年間配水量は約3,737万m³余となり、市民の生活用水はもとより、観光需要などの経済活動や都市機能の維持など様々な面で那覇市の市民生活を支える重要基盤の役割を担っております。蛇口を回せば「みず」が出るのは当たり前のように思われておりますが、歴史を振り返りますと、これまでの普及・発展までには多くの困難があり、水道事業に携わった先人たちのご尽力、また市民の皆様及び関係者各位のご理解、ご協力がありました。

本市の水道は創設期、復興期、拡張期を経て、現在は維持管理期（更新・耐震化）へと事業を進めています。今回、通水90周年を迎え、本市水道の歴史を振り返り、また現在、那覇市の水道が取り組んでいる内容を見てみましょう。

創設期／昭和8年～昭和20年（1933～1945）

那覇は昔から飲料水に乏しく、雨水や井戸水、湧き水に頼っていました。その後、宜野湾村（現宜野湾市）に水源が見つかり、昭和8年9月に県内で初めて給水が開始されました。しかし、後の大戦で給水施設のほとんどが破壊されてしまいました。戦後はしばらくの間、再び雨水や井戸水などに頼っていました。



波の上一帯配水管埋設工事



通水を祝い市内では綱引き行列が行われた

復興期／昭和21年～昭和34年（1946～1959）

戦後の深刻な水事情に対処するため昭和26年に市内一部で簡易水道が開始されました。

その後、米国民政府による水源池、ポンプ場、浄水場等が返還され、昭和29年4月から本格的な水道事業を再開し、首里配水池、ポンプ場等の施設の整備拡充が行われるようになってきました。



開南中央通り簡易水道配管工事（昭和26年）



米国民政府から返還された 泊浄水場（昭和29年）

拡張期／昭和35年～平成24年（1960～2012）

昭和38年に泊浄水場の拡張を行い、昭和47年の本土復帰を機に、拡張事業を推進し施設の拡充整備を行ってきました。

その後、数次の拡張事業を行い平成16年に新都心地区の配水管布設工事が完了したことにより本市の水道施設整備はほぼ完了しました。しかし、その一方で水源に乏しい沖縄では、給水制限も頻繁に行われ、特に昭和56年の制限給水は326日間という非常に長期にわたるものでした。



泊配水池落成式（平成15年）



夜間の給水制限に伴うバルブ操作

維持管理期（更新・耐震化）／平成16年～（2004～※拡張期と重複期間あり）

現在は、復帰前後に布設した管路の更新事業や地震などの災害に備え基幹管路の耐震化事業を推進しています。

また、災害時等に必要な資機材を保管・管理し、応急復旧活動の起点となる上下水道局災害用備蓄倉庫を建設し災害への備えを強化し、大地震などを想定した防災訓練や迅速に応急給水ができる体制づくりに努めています。



水道管の更新時は「伸縮性」・「屈曲性」・「離脱防止機能」を備えた耐震管への布設替え



給水車による応急給水訓練



上下水道局災害用備蓄倉庫完成（令和4年）

私たち上下水道局は、これからも市民の皆様「安全」「安心」な水道水を提供することを使命の第一に考え日々努力して参ります。

令和5年度、通水90周年を記念して、本市水道のこれまでの歩みとこれからの取り組みなどを掲載した通水90周年記念誌「那覇の水道」を作成しました。

※詳しくは上下水道局HPをご覧ください▶



【お問い合わせ】企画経営課 TEL：941-7802 FAX：941-7821

納付書(ハガキ)支払いのお客様へ

Web口座振替受付サービスについて
スマホ・パソコンからも口座振替の申込みができます！



- 利用可能な金融機関（琉球銀行、沖縄銀行、沖縄海邦銀行、鹿児島銀行、コザ信用金庫、沖縄県労働金庫、ゆうちょ銀行）
- 金融機関や上下水道局の窓口に出向く必要はありません。
- 24時間申込みが可能です。
- 普通預金口座をお持ちの個人のお客様がご利用頂けます。
- 水道番号は検針票や納付書（ハガキ）に記載されています。
- 今までどおり、申込用紙でのお申込みも可能です。

お申し込みは
こちらから！



ご自宅で水道料金等のスマホ決済ができるようになりました！

令和5年11月より、スマホ決済アプリを利用してご自宅で水道料金を支払うことができるようになりました。
納付書払いの方は、スマホ決済アプリ起動後、納付書に印字されているバーコードをスマホのカメラで読み取ることでお支払いができます。

【ご利用できるアプリ決済サービス】

◎PayPay請求書払い ◎d払い請求書払い ◎au PAY請求書支払い ◎LINE Pay請求書支払い

注 意 事 項

- スマホ決済での支払いは30万円（LINE Pay請求書支払いは4万9,999円）以下に限ります。
- スマホ決済では領収書は発行されません。領収書が必要な場合は、納付書に記載されている金融機関やコンビニエンスストアで納付してください。
- アプリの操作方法等は各アプリ提供会社のホームページにてご確認ください。

※その他詳細につきましては、上下水道局ホームページでご確認ください▶



【お問い合わせ】上下水道局お客様センター TEL：941-7804 FAX：941-7824